

不動寺小学校	学びの基盤づくり推進校
--------	-------------

1 研究の重点と具体的な取組

- (1) 重点1 子どもが自分で考え、自分で表現する場の工夫
自分で考える場では、自分の考えの根拠や思考の過程を明確にして表現することができるよう、書くことを中心に取り組む。
- (2) 重点2 友達と考えを交流し、学びを深める・広げる場の工夫
学びを深める・広げる場では、伝え合い、話し合いながら自分の考えをより深めたり、広げたりすることができるよう、板書や深めの発問、教材・教具、学習形態を工夫する。
- (3) 重点3 自分の考えの深まりや広がりをも自分の言葉でまとめ、振り返る場の工夫
学習をまとめ、振り返る場では、学びを通じた考えの深まりや広がり、変容をも自分の言葉で表現することで、「わかった」「できた」「変わった」を実感させる。

2 取組の検証

児童アンケート項目	肯定的割合
「学習課題について、わけや考え方を書いている」	90%
「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしている」	82%
「自分の言葉でまとめやふり返りを書いている」	93%

3 成果と課題

自分で考える場では、書き方のモデルやフォーマットを示したり、図や数直線、途中式、言葉や文などを用いて考えの根拠や思考の過程を明確に書くことを促したり、全員が自分の考えをしっかりとめるような働きかけや個別支援を行ったりして、自分の考えの根拠や思考の過程を明確にして表現することができるよう、書くことを中心に取り組んだ。その結果、児童は概ね自分の考えの根拠や思考の過程を書くことができるようになってきた。

学びを深める・広げる場では、机間指導を行い、児童の思考を把握し、意図的に指名することなどに取り組んだが、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりしている」と感じている児童は約8割で、残りの2割の児童の意識が向上するようにさらに指導を行っていく必要がある。

学習をまとめ、振り返る場では、自分の言葉で学習問題に正対したまとめや振り返りを書く場をしっかりと保障した。また、キーワードが確認できる板書を工夫し、中学年以上は確認したキーワードを使ってまとめるように指導した。その結果、児童アンケート「自分の言葉でまとめやふり返りを書いている」では肯定的割合が9割以上であった。引き続き、自分の言葉でまとめや振り返りを書く時間を確保できるよう、タイムマネジメントを行うとともに、振り返りの内容が、思考の深まりをさらに意識できるような内容になるように取り組んでいく。